

## 12月定例月議会の議案・補正予算について 来年度からコンビニで住民票等が交付できるように

12月13日～16日の日程で根室市議会12月定例月議会が開催されました。審査された議案や補正予算等について、少しご紹介いたします。

### コンビニ交付サービスの導入

マイナンバーカードを使って、コンビニ等に設置されているマルチコピー機から、住民票などの各種証明書の取得が可能になります。道内では27市町で実施されています。実施時期は未定ですが市は来年度から実施したい考えです。全国どこのコンビニでも、土日祝日を含め朝6時30分～夜11時まで利用できるそうです。遠隔地に居住している方や、役所が閉庁している時間帯でも書類がとれるのは時間のない方にとって便利と思います。なお印鑑証明もコンビニ交付できるようになりましたが、一方で市役所の窓口ではシステム的に従来通り印鑑登録証の提示が必要であり、マイナンバーカードだけでは印鑑証明が出せないそうです。

### コンビニ交付可能な証明書

- 住民票の写し
- 印鑑証明
- 戸籍謄本・抄本
- 戸籍の附票
- 所得課税証明
- 所得証明
- 非課税証明
- 児童手当



**あわせて郵送申請オンラインサービスも導入**  
住民票等はこれまで郵送申請で交付出来ましたが、来年度以降は右表の証明書等も郵送で交付出来ます。ただし、同じくマイナンバーカードを使ってスマホの専用アプリからしか申請できない仕組みのようです。支払いはクレカのみです。こちらはそれほど便利になったと思えませんが、手段が増えることは良いことかなと思います。

### 市職員の定年延長

地方公務員法の改正により市職員の定年が現在の60歳から来年度から2年に1歳づつ段階的に引き上げられます。最終的に2031年度には65歳定年になる予定です。なお管理監督職については60歳以降はそれ以外の職へ降任・転任することとされています。定年延長によつて定年退職が出ない年度も発生する場合がありますが、市はそうした年度でもある程度の必要数を見込んで新規採用を行うとしています。

ところで定年が延長になったとしても60歳以降は現行給与の7割水準にまで減額されます。地方公務員法24条「職員の給与は、その職務と責任に応ずるものでなければならぬ」という従来の考え方に反する変更点で、こうした国のやり方に不満を覚えます。

### 来年度から「海星学校」へ



海星小学校と海星中学校を統合し、来年度から9年間の一貫教育を行う義務教育学校に変わります。これまでの学校側や保護者・地域との話し合いのなかで、小中一貫教育に対して前向きに受け止められていると市教委は説明していました。地域から校歌を変えないでほしいとの意見があり、学校名を「海星学校」としています。9年間を6・3制で分けますが、従来の小6の卒業式と中1の入学式に代えて「前期課程修了式」と「進級式」という子ども達の成長を祝う節目行事を行います。また職員室についても従来の小学校・中学校で二つに分けて使います。

このように市内の義務教育学校の先行事例である歯舞学園とは運営形態が異なっています。文教厚生常任委員会の審議で委員から「根室市として統一した教育方針を進めるべきではないか」という意見が出されていましたが、市教委は「学校ごとの判断において特色ある教育を推進することを重視した」と説明していました。

### 旧花咲小学校の校舎解体を延期

移転した花咲小学校の校舎を解体する予定でしたが、解体の前段階でアスベスト調査を実施したところ、改築を重ねた古い校舎のため想定外の場所から大量のアスベストが検出されました。そのため次年度にかけさらに詳細な調査を実施するため解体工事が延期されました。今年度当初は解体費として約3億円を予算化していましたが、飛散防止などアスベスト対策のため、今後実際に解体工事する際はさらに高額になるのではないかと想定されています。

なお旧校舎に残された卒業制作のレリーフは既に回収保存されたこと、また職員室前の看板については直ぐに取り外すことが難しいため、解体工事の際に回収して保存・活用することを考えていることを、須崎和貴議員（会派袖）の質疑に答えていました。

### 市立根室の救急外来の前に屋根

市立根室の救急外来の前に救急車両を停め患者さんを搬送するとき、風等をさける庇(屋根)を新たに設置するための調査が行われます。

それは良いのですが、正面玄関側では寝たきりや車イスの患者さんを乗せた車両が、後続車の邪魔にならないように屋根の無い奥の方に停車して患者さんを乗降させています。橋本は予算委員会の質疑でそうした車に乗る方が雨雪が当たらないように屋根等を設置することも検討するように求めました。

さらに正面玄関側は屋根の柱が死角になって横断する患者さん等が見えづらく、より安全性の確保するためミラー等の設置を検討するように求めました。



### ホタテ漁場でも赤潮対策を実施

今年度国が「北海道赤潮対策緊急支援事業」が行われ、根室市内でもウニの調査などが実施されています。その後、さらに漁場の調査等の事業が実施されます。来年度2月から根室沖でホタテ種苗の生存調査のほか、水質調査や水中ドローン等による高度な漁場環境調査などが実施される予定とのことです。

### ファミサポへの支援強化を

今年9月から市の委託により市内の団体がファミサポセンター事業をあらたに実施しました。登録会員も増え、利用会員・提供会員、そして両方を兼ねた会員あわせて100名を超えたそうです。ところでこのファミサポは利用料金が平日30分400円、土日祝日30分500円となっており、支払う利用料が高額になります。その一方で子どもを預かる提供会員にとっては、最低賃金以下の額にしかありません。この制度は有償ボランティア的な会員同士の相互援助が基本であるため、双方にとって中途半端な料金設定になっています。

各地ではひとり親家庭や生活保護・非課税世帯に対して、自治体を利用料に対して独自の助成制度を設けるところも多く、根室市でも実施をするよう求めました。担当課は来年度からの実施に向けて事業者側と検討していきたいと答えています。

将来的には全面的な利用料の助成をはじめ、より多くの市民にとつて気軽に利用しやすい、または子育てを支援する側に参画しやすい環境づくりについて、十分に検討していく必要があるものと思います。